

九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Studies in Chinese Literature

<http://hdl.handle.net/2324/9887>

出版情報：中国文学論集. 15, 1986-12-31. The Chinese Literature Association, Kyushu University
バージョン：
権利関係：





岡村 繁 教授 近影

岡村 繁教授 年譜略

大正十一年（一九二二） 七月二十三日、父浜之助・母カツの長男として、滋賀県甲賀郡油日村（現甲賀町）大字

上野一一九〇番地に生まる。

昭和十二年（一九三七） 三月、油日尋常高等小学校高等科卒業。

昭和十七年（一九四二） 三月、滋賀県師範学校本科第一部卒業。

四月、広島高等師範学校文科第一部甲入学。

昭和十九年（一九四四） 九月、広島高等師範学校文科第一部甲第三学年修了。

十月、広島文理科大学文学科（漢文学専攻）入学。

昭和二十年（一九四五） 五月、特別幹部候補生として西部軍管区教育隊に入隊、伍長。

六月、熊本陸軍予備士官学校に入校。八月、津山陸軍予備士官学校に移籍。月末、復員。

昭和二十二年（一九四七） 九月、卒業論文『毛伝の原始形態に就きて』を提出して広島文理科大学文学科を卒業。

同三十日、広島文理科大学副手。

昭和二十四年（一九四九） 六月、広島文理科大学助手。

昭和二十八年（一九五三）四月、学制改革により広島大学文学部助手に配置換。

九月、兵庫県立星陵高等学校教諭。

昭和三十四年（一九五九）四月、名古屋大学文学部助手。

昭和三十七年（一九六二）三月、論文『後漢三国の評論に関する研究』により、名古屋大学より文学博士の学位を授与せらる。

昭和三十九年（一九六四）一月、東北大学教養部助教授。

昭和四十一年（一九六六）十月、九州大学文学部助教授。

昭和四十三年（一九六八）十一月、九州大学文学部教授（中国文学講座担当・大学院文学研究科指導教官）。九州大学評議員。

昭和四十七年（一九七二）七月、九州大学文学部長（四十九年六月まで）。

昭和四十八年（一九七三）四月、九州大学文学部附属九州文化史研究施設長併任（五十年三月まで）。

昭和五十一年（一九七六）五月、九州中国学会会長（二期四年）。

昭和五十二年（一九七七）七月、九州大学附属図書館長（五十五年七月まで）。

九月、文部省在外研究員としてアメリカ合衆国・イギリス・フランスの図書館および中国文学研究状況を視察、月末帰国。

昭和五十七年（一九八二）五月、九州中国学会会長（二期二年）。

十月、台北淡江大学の招聘により渡台、中国古典文学の連続講義を行なう。

昭和五十九年（一九八四）

十一月十日―十四日、九州大学と中山大学との間の学術交流協定調印のため、田中健蔵学長の随員として広州訪問。十二日、中山大学中国語言文学系において記念講演。

同月十八日―二十九日、上海復旦大学の招聘により、日本代表団の一員として中日学者

『文心雕龍』学術討論会に出席、研究発表。

昭和六十年（一九八五）

四月、台北の国立台湾師範大学における中国古典文学第一回国際会議に出席、研究発表。

昭和六十一年（一九八六）

二月一日、九州大学文学部最終講義「詩経とその詩人たち」。

三月、九州大学文学部教授を定年退官。

四月、久留米大学教授に就任。

五月、九州大学名誉教授の称号を受ける。

このほか、他大学の非常勤講師としては、昭和三十八年以降、東北大学・大阪大学・名古屋大学・広島大学・山形大学・山口大学・島根大学・高知大学・熊本大学・長崎大学・佐賀大学・大分大学・琉球大学・愛知教育大学・福岡教育大学・福岡女子大学・高野山大学等に出講、中国古典文学を講ず。

岡村 繁教授 著作目録

著書・編書

- 1 文心雕龍索引 廣島文理科大学漢文学研究室 昭和二五年 九月
- 2 廣島大学文学部 中国哲学
中国文学 研究室書籍目録 廣島大学文学部 昭和二八年 二月
- 3 後漢三国の評論に関する研究 自家出版 昭和三七年 三月
- 4 陶淵明——世俗と超俗—— 東京、日本放送出版協会（NHKブックス） 昭和四九年 二月
- 5 亀井南冥・昭陽全集 第一卷（共編） 福岡、葦書房 昭和五三年 五月
- 6 亀井南冥・昭陽全集 第二卷（共編） 福岡、葦書房 昭和五三年 二月
- 7 亀井南冥・昭陽全集 第三卷 福岡、葦書房 昭和五三年 八月
- 8 亀井南冥・昭陽全集 第四卷 福岡、葦書房 昭和五三年 一月
- 9 亀井南冥・昭陽全集 第八卷下（共編） 九州大学文学部 昭和五五年 九月
- 10 対馬藩現存漢籍分類目録 九州大学文学部 昭和五五年 三月
- 11 杉浦重剛全集 第五卷（共編） 京都、思文閣出版 昭和五七年 一月

- 12 秋月郷土館蔵書分類総目録（共編）
東京、文献出版
昭和五七年 三月
- 13 文心雕龍索引（改訂版）
名古屋、采華書林
昭和五七年 九月
- 14 中国文学專題三講
台北、淡江大学出版中心
一九八四年一〇月
- 15 藤樹書院蔵書分類目録
滋賀県安曇川町
昭和六〇年 五月

論文・訳注

- 1 沈約郊居賦雷張同箋補正
日本中国学会報第三集
昭和二七年 三月
- 2 人物志の流伝について
哲学（広島大学）第三輯
昭和二七年二月
- 3 世説所見話言用典考
広島大学文学部紀要第五号
昭和二九年 三月
- 4 郭泰・許劭の人物評論
東方学第一〇輯
昭和三〇年 四月
- 5 郭泰の生涯とその為人
支那学研究第一三号
昭和三〇年 九月
- 6 中国の詩（全一〇回）
天翔（神戸）第五〇―六一号
昭和三〇年七月―
昭和三一年七月
- 7 後漢末期の評論的気風について
名古屋大学文学部研究論集二二（文字八）
昭和三五年 二月
- 8 曹丕の「典論論文」について
支那学研究第二四・二五合併号
昭和三五年一〇月
- 9 人物志劉注校箋
中国文芸思想史論叢（北京大学）第一輯
一九八四年 五月
- 岡村繁教授著作目録
名古屋大学文学部研究論集二五（文字九）
昭和三六年 三月

- 10 「才性四本論」の性格と成立 名古屋大学文学部研究論集二八(文学一〇) 昭和三七年 三月
- 11 清談の系譜と意義 日本中国学会報第一五集 昭和三八年一〇月
- 12 『六朝詩集』とそれに収められた「鮑氏集」について 東北大学教養部紀要第一号 昭和四〇年 三月
- 13 細川家永青文庫蔵「敦煌本文選注」について 集刊東洋学第一四号 昭和四〇年一〇月
- 14 「敦煌本文選注」校釈 東北大学教養部紀要第四号 昭和四一年 二月
- 15 建安文壇への視角 中国中世文学研究第五号 昭和四一年 六月
- 16 楚辞と屈原——ヒーローと作者の分離について—— 日本中国学会報第一八集 昭和四一年一〇月
- 17 楚辞文学における「抽思」の位置 集刊東洋学第一六号 昭和四一年一〇月
- 18 駢文 中国文化叢書(大修館書店)第四卷 昭和四二年 九月
- 19 唐末における曲子詞文学の成立 文学研究第六五輯 昭和四三年 三月
- 20 Ch'ü Yüan is not the Author, if the Hero, of Ch'ü-tz'ü Literature "STUDIES IN LITERATURE" No.3 一 九六八年一二月
- 21 陶淵明論——その超俗的生活を支えた世俗性——

- | | | | | |
|----|---------------------------|------------------------------|-------|-----|
| | | 文学研究第六八輯 | 昭和四六年 | 三月 |
| | | 九州中国学会報第一七卷 | 昭和四六年 | 五月 |
| 22 | 五言詩の文学的定着の過程 | | | |
| 23 | 陶淵明に関する魯迅の提言と革命後の中国での討論 | 野草第四号 | 昭和四六年 | 七月 |
| 24 | 『歴代名画記』序篇校注 | 文学研究第六九輯 | 昭和四七年 | 三月 |
| 25 | 漢初における辞賦文学の動向 | 鳥居久靖先生
華甲記念論集
中国の言語と文学 | 昭和四七年 | 二月 |
| 26 | 陶淵明の人と作品 | 国語(東京書籍)一一四号 | 昭和四七年 | 二月 |
| 27 | 揚雄の文学・儒学とその立場 | 中国文学論集第四号 | 昭和四九年 | 五月 |
| 28 | 『文選』の序 | 中国古典文学大系(平凡社)第五四卷 | 昭和四九年 | 六月 |
| 29 | 『詩品』の序 | 中国古典文学大系(平凡社)第五四卷 | 昭和四九年 | 六月 |
| 30 | 歴代名画記(谷口鉄雄と共訳)全一〇卷 | 中国古典文学大系(平凡社)第五四卷 | 昭和四九年 | 六月 |
| 31 | 張彦遠『歴代名画記』の撰述過程 | 目加田誠博士古稀記念中国文学論集 | 昭和四九年 | 一〇月 |
| 32 | 『名画獵精録』の性格とその価値 | 文学研究第七二輯 | 昭和五〇年 | 三月 |
| 33 | 班固と張衡——その創作態度の異質性—— | 小尾博士退休記念中国文学論集 | 昭和五一年 | 三月 |
| 34 | 筑前秋月藩の漢学と教育——秋月郷土館蔵漢籍管窺—— | 九州文化史研究所紀要第二一号 | 昭和五一年 | 三月 |

(補訂再録)

- 九州近世史研究叢書(国書刊行会)第一四卷
昭和六〇年一月
- 35 『史記』から『漢書』へ
国語(東京書籍)一五五号
昭和五一年九月
- 36 蔡邕をめぐる後漢末期の文学の趨勢
日本中国学会報第二八集
昭和五一年一〇月
- 37 孝の系譜
全国藤樹講習会講話第二集
昭和五一年二月
- 38 亀井南冥『春秋左伝考義』の現存写本について
文学研究第七四輯
昭和五二年三月
- 39 物語文学の成立と唐宋の説話文学
国語の研究(大分大学)第一〇号
昭和五二年五月
- 40 張懷瓘の書論と張彦遠の画論
中国書論大系月報(二玄社)四
昭和五三年九月
- 41 北九州の漢学(上)(中)(下)
国語(東京書籍)一七八・一八一・一八三号
昭和五三年一〇月・
昭和五四年一・三月
- 42 文選集注と宋明版行の李善注
加賀博士退官記念中国文史哲学論集
昭和五四年三月
- 43 「橘頌」の出現——楚辭騷体文学の分裂現象——
森三樹三郎博士頌寿記念東洋学論集
昭和五四年二月
- 44 唐代詩人群像
九州大学公開講座一『文学のなかの人間像』
昭和五五年四月
- 45 李白「峨眉山月歌」考——李白の出蜀経路とその詩想開眼——
荒木教授退休記念中国哲学史研究論集
昭和五六年二月
- 46 詩譜序正義訳注
文学研究第七九輯
昭和五七年三月

- 47 対馬宗家文庫漢籍（朝鮮本）提要 九州文化史研究所紀要第二七号 昭和五七年 三月
- 48 劉向『列女伝』における女性の行動と倫理 中国文学の女性像（汲古書院） 昭和五七年 三月
- 49 東晋画論における老荘思想の反映の仕方 中国文学論集第一号 昭和五七年一〇月
- 50 周南召南譜正義訳注 文学研究第八〇輯 昭和五八年 二月
- 51 劉劭の『人物志』における人物論の構想とその意図 中国における人間性の探究（創文社） 昭和五八年 二月
- 52 李白と孟浩然 国語（東京書籍）二二七号 昭和五八年 三月
- 53 「父の子に於ける、実は情欲の為に発せしのみ」 小尾博士古稀記念中国学論集（汲古書院） 昭和五八年一〇月
- 54 李白の政治的自負とその本質 集刊東洋学第五〇号 昭和五八年一〇月
- 55 周南閔睢詁訓伝正義訳注（一） 文学研究第八一輯 昭和五九年 二月
- 56 竹添井井の『左氏会箋』が剽窃した一つの種本 三迫初男博士古稀記念論叢 漢語・漢文の世界 昭和五九年 五月
- 57 『文心雕龍』における五経と文筆美 中国文学論集第一三三号 昭和五九年一二月
- （中国訳）『文心雕龍』中的五経和文章美（李慶訳）

- | | | | | |
|----|--------------------|---------------------------------|-------|----|
| 58 | 「離騷」及「九章」的形成（范月嬌訳） | 中華文史論叢（上海古籍出版社）第三四輯 | 一九八五年 | 六月 |
| 59 | 周南閔雎詁訓伝正義訳注（二） | 日本漢学論文集（台北、文史哲出版社）一
文学研究第八二輯 | 一九八五年 | 一月 |
| 60 | 李白とその妻子たち | 古田教授退官記念中国語学文学論集 | 昭和六〇年 | 三月 |
| 61 | 「文選」与「玉台新詠」（余崇生訳） | 古典文学（台北、台湾学生書局）第七集（上） | 昭和六〇年 | 七月 |
| 62 | 周南閔雎詁訓伝正義訳注（三） | 文学研究第八三輯 | 一九八五年 | 八月 |
| 63 | 『詩経』とその詩人たち | 中国詩人論（汲古書院） | 昭和六一年 | 二月 |
| | | | 昭和六一年 | 九月 |

書評・解説

- | | | | | |
|---|-----------------|--------------|----------|----|
| 1 | 中島千秋著『賦の成立と展開』 | 集刊東洋学第一二号 | 昭和三九年一〇月 | |
| 2 | 宇都宮清吉訳『顔氏家訓』 | 中国文学論集第一号 | 昭和四五年 | 五月 |
| 3 | 増田清秀著『楽府の歴史的研究』 | 創文（創文社）一四三号 | 昭和五〇年 | 九月 |
| | 同（詳評） | 中国文学論集第五号 | 昭和五一年 | 三月 |
| 4 | 亀井南冥『春秋左伝考義』解説 | 亀井南冥・昭陽全集第一卷 | 昭和五三年 | 五月 |
| 5 | 亀井南冥『泱泱余響』解説 | 亀井南冥・昭陽全集第一卷 | 昭和五三年 | 五月 |
| 6 | 亀井昭陽『左伝續考』解説 | 亀井南冥・昭陽全集第三卷 | 昭和五三年 | 八月 |

7 鈴木修次『漢字―その特質と漢字文明の将来』『漢語と日本人』『中国文学と日本文学』

週刊読書人

昭和五三年一二月

8 亀井昭陽『毛詩考』解説

亀井南冥・昭陽全集第二卷

昭和五三年一二月

9 近藤春雄著『唐代小説の研究』

中国文学論集第八号

昭和五四年九月

10 『亀井昭陽詩文集』解説

亀井南冥・昭陽全集第八卷下

昭和五五年九月

11 杉浦重剛の漢詩文について

杉浦重剛全集第五卷

昭和五七年一月

12 秋月郷土館蔵漢書籍解題

秋月郷土館蔵書分類総目録

昭和五七年三月

13 定本「詩経訳注(下)」「楚辞訳注」解説

目加田誠著作集(東京、龍溪書舎)第三卷

昭和五八年九月

14 藤樹書院蔵書解説

藤樹書院蔵書分類目録

昭和六〇年五月

15 山内春夫著『杜牧の研究』

志学(大阪、大谷女子大学学報)第一六号

昭和六〇年一〇月

学界動向紹介

1 Recent Publications on Chinese Literature (Japan)

CLÉAR (米国、ウィスコンシン大学) Vol. 2, No. 1 一九八〇年 一月

2 日本研究中国古代文論的概況(曠鍾訳)

文獻(北京図書館)一九八〇年第四輯

一九八一年 二月

(再録)

日本研究『文心雕龍』論文集(済南、齊魯書社)

一九八三年 四月

岡村繁教授著作目録

九州・沖縄地区学界消息

新しい漢文教育(全国漢文教育学会)創刊号

昭和六〇年一〇月

辞典執筆

1 「文心雕龍」

中国語学新辞典(東京、光生館)

昭和四四年一〇月

2 「陶淵明」

ブリタニカ国際大百科事典(東京、TBSブリタニカ)

昭和五〇年一二月

3 「王符」「郭泰」「蔡邕」「徐幹」「人物志」「楚辭」「張彦遠」「桃花源記」「陶潜」

中国思想辞典(東京、研文出版)

昭和五九年 四月

4 「屈原」「宋玉」「賦」

日本大百科全書(東京、小学館)

昭和六一年 一月

新聞・放送

1 奇妙な語順の文章

朝日新聞(夕刊)文化欄

昭和四四年一二月 八日

2 陶淵明——その「真」と通俗性

朝日新聞(夕刊)文化欄

昭和四五年一二月二六日

3 中国——近くて遠き(上)(下)

西日本新聞(夕刊)文化欄

昭和四六年 二月一六日

4 中国古代の文人たち

NHK第二(市民大学講座)

一、屈原と楚辞文学

昭和四八年一二月 四日

二、漢代の宮廷文人

三、五言詩とその詩人たち

四、陶淵明

5 亀井南冥・昭陽の学問——著述全集刊行を機に——

西日本新聞(夕刊)文化欄

昭和五三年 五月一六日

6 中国文学二つの大著——相づく発刊に寄せて——

西日本新聞(夕刊)文化欄

昭和五四年 六月二日

7 物語文学のルーツ

朝日新聞(夕刊)文化欄

昭和五五年 二月 四日

8 「商女は知らず亡国の恨み」——唐王朝の衰亡と詩風の変移——

西日本新聞(夕刊)文化欄

昭和五五年 二月二九日

9 堂々の巨冊『広瀬旭荘全集』

大分合同新聞(夕刊)

昭和五七年 七月二〇日

10 九州漢学の隆盛

西日本新聞(夕刊)文化欄

昭和六〇年一〇月一五日

雑纂

1 研修雑感

兵庫教育第九卷第一〇号

昭和三三年 二月

2 漢文入門期の取り扱いについて

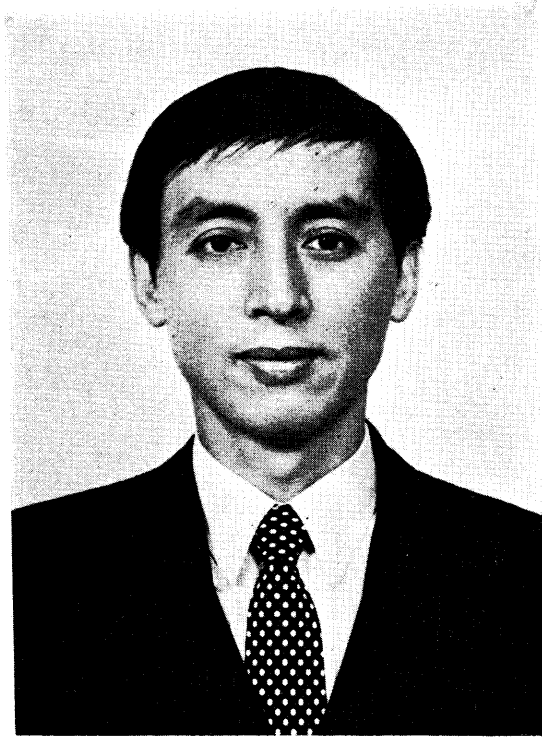
漢文教室(東京、大修館書店)第三六号

昭和三三年 五月

岡村繁教授著作目録

- | | | | |
|----|---------------------|------------------------|----------|
| 3 | 所感 | 会報（九州大学文学部同窓会）第一六号 | 昭和四八年 三月 |
| 4 | 学部長提言「文学部」 | 螢雪時代（東京、旺文社）五月号 | 昭和四八年 五月 |
| 5 | 読み手の立場 | 駿台新聞（東京、駿台文庫）第一一号 | 昭和四八年 七月 |
| 6 | 『甲賀町史』を読んで | 広報こうか（滋賀、甲賀町）二二二二号 | 昭和四八年 九月 |
| 7 | 所感 | 会報（九州大学文学部同窓会）第一七号 | 昭和四九年 三月 |
| 8 | 『世説新語』との出会い | 新釈漢文大系季報（東京、明治書院）第三七号 | 昭和五〇年 一月 |
| 9 | 東洋の友誼 | 日中協ニュース（日中友好国民協議会）第四七号 | 昭和五〇年 一月 |
| 10 | 松浦崇編『嵯康集「詩」索引』の序 | 京都、彙文堂書店刊 | 昭和五〇年 六月 |
| 11 | 『文選』訳注の完成 | 全釈漢文大系月報（東京、集英社）二四 | 昭和五一年一〇月 |
| 12 | 附属図書館長就任のあいさつ | 図書館情報（九州大学附属図書館）一〇八号 | 昭和五二年 九月 |
| 13 | ある山村の小学校の思い出 | 近江教育第五九三号 | 昭和五二年一〇月 |
| 14 | 欧米紀行（一）（二）（三） | 九大学報一一三八・一一三九・一二四〇号 | 昭和五三年三月 |
| 15 | 『文心雕龍』による学問の交わり | 新釈漢文大系季報（東京、明治書院）第五五号 | 昭和五三年 六月 |
| 16 | 亀井昭陽の学問的慧眼 | 亀井南冥・昭陽全集によせて（福岡、葦書房）三 | 昭和五三年一〇月 |
| 17 | 先学を語る——斯波六郎博士——（司会） | 東方学第六一輯 | 昭和五七年 一月 |
| 18 | 「近況」李白研究に明るい見通し | 西日本新聞（夕刊）文化欄 | 昭和五七年 一月 |

- 19 佐藤清太先生の思い出 洗耳子——佐藤清太博士追悼文集 昭和五七年 四月
- 20 戦争に明け暮れた学生時代 追懷（広島高等師範学校創立八十周年記念） 昭和五七年一〇月
- 21 大型コレクション『百部叢書集成』について 図書館情報（九州大学附属図書館）一二九号 昭和五八年 四月
- 22 杉浦重剛先生の漢詩——郷里を詠じた詩を中心に—— 梅窓報（大津）第二〇号 昭和五八年 四月
- 23 対馬に朝鮮本は残った 九大学学报一二〇九号 昭和五八年一二月
- 24 斯波先生に教わった日々 斯波先生を偲んで（広島大学文学部） 昭和五九年 九月
- 25 秋月藩の漢籍と秋月の乱 図書館学（西日本図書館学会）第四五号 昭和五九年 九月
- 26 藤井良雄主編『阮籍集索引』の序 福岡、中国書店刊 昭和六〇年 一月
- 27 藤樹先生に学ぶ 藤樹講習会叢書一四集 昭和六〇年 三月
- 28 無言の教育 会報（滋賀大学教育学部同窓会）第三六号 昭和六〇年一〇月



劉 三富 教師 近影

劉 三富教師 年譜略

- 昭和十八年（一九四三） 一月十五日台灣省台中縣梨山生れ
- 昭和三十一年（一九五六） 七月梨山小學校卒業
- 昭和三十四年（一九五九） 七月台灣省立台中第一中學卒業
- 昭和三十七年（一九六二） 七月台灣省立台中南投高校卒業
- 台北淡江大學文學部入學
- 昭和四十一年（一九六六） 七月台北淡江大學文學部中國文學科卒業
- 兵役（空軍少尉任官）（四十二年七月まで）
- 昭和四十二年（一九六七） 台灣省台中縣立東勢中學校教員（國語科擔當）（四十五年五月まで）
- 昭和四十四年（一九六九） 四月九州大學大學院文學研究科入學
- 昭和四十六年（一九七二） 三月九州大學大學院文學研究科中國學專攻修士課程修了（文學修士）
- 昭和四十六年（一九七一） 四月九州大學大學院文學研究科博士課程進學
- 昭和四十八年（一九七三） 四月西南學院大學非常勤講師（中國語擔當）（四十九年三月まで）

昭和四十九年（一九七四）三月九州大學大學院文學研究科博士課程單位取得滿期退學

四月西南學院大學文學部講師（中國語擔當）（五十一年三月まで）

昭和五十一年（一九七六）四月西南學院大學文學部助教授（東洋文化史・中國語擔當）（五十二年三月まで）

昭和五十二年（一九七七）四月九州大學文學部外國人教師（學部、中國語學演習・中國文學演習擔當）（大學院文學研究科、中國語演習・中國文學演習擔當）（六十一年三月まで）

昭和六十一年（一九八六）二月文學博士の學位授與（九州大學乙第七十一號）

四月福岡大學教授

劉 三富教師 著作目錄

著書

柳宗元及其非國語

台北・彌勒出版社

一九八五年九月

譯書

中國文學專題三講

台北・淡江大學出版

一九八三年十月

論文

李華の思想と文學

中國文學論集第四號

昭和四十九年五月

韓愈の創作態度について

文理論集第十五卷一號

昭和四十九年十月

獨孤及の文學について

中國文學論集第五號

昭和五十一年三月

梁肅の思想と文學

文學研究第七十六輯

昭和五十四年三月

裴鉞の傳奇小説「聶隱娘」をめぐる諸問題

文學研究第七十八輯

昭和五十六年二月

韓愈詩考——感春詩を中心として——

中國哲學史研究論集（韋書房出版）

昭和五十六年十二月

「漢唐の際の『國語』」について

中國文學論集第十二號

昭和五十八年十二月

劉三富教師著作目錄

柳宗元が『非國語』を撰した意圖について

李賀詩について

翻譯

中國言語學の過去・現在と未來

東西思考法の相違

王陽明の「四句教」の善惡思想

古典文學（台灣學生書局）第七輯

中國詩人論（汲古書院）

一九八五年八月
昭和六十一年十月

文理論集第十七卷一號

文理論集第十七卷二號

儒學叢書（明德出版社）

昭和五十一年八月
昭和五十一年十二月
昭和六十一年二月